

おじいちゃんおばあちゃん 末長くお元気で



今年度100歳になる高橋マツさん(正尺)

9月15日は敬老の日。この日は、市内の5会場で73歳以上の方(昭和3年3月31日以前に生まれた人)4,461人を招待して敬老会が行われました。

豊栄市は65歳以上の人口が、総人口の15.95%(平成12年4月現在)となり、今後も増加する見込みです。このような高齢化の進展により、社会全体で支える介護保険制度が4月から始まりました。市でも「安心して暮らせる福祉のまちづくり」を目指して介護保険制度の円滑な実施をはじめ、市民と行政が一体となって、地域で支え合う「福祉コミュニティづくり」を推進しています。

若くて健康な方もいつかは「高齢者」といわれる日がやってきます。敬老の日を機会に、高齢者が地域の一員として安心して暮らせる社会を考えてみませんか。

長寿豊市番付

平成12年9月付(年齢は平成12年9月15日現在で算出)敬称略

男		番付	女	
氏名・年齢・生年月日	自治会		氏名・年齢・生年月日	自治会
相馬 清司 98歳(明34.11.18)	栄町	横綱	高橋 マツ 99歳(明33.10.20)	正尺
小林 新吉 98歳(明35.2.10)	長戸呂	大関	八子 マス 99歳(明34.5.3)	正尺
桐原 八萬人 97歳(明35.9.27)	白新町二丁目	関脇	川口 ヤスヲ 99歳(明34.6.3)	栄町
橋本 庄一郎 96歳(明37.1.12)	柳原	小結	佐藤 ヨイ 98歳(明34.11.22)	内沼
猪木 武志 96歳(明37.9.1)	浦木	前頭1	木村 ソイ 98歳(明35.3.25)	長戸呂
竹内 甲 95歳(明37.12.26)	下大谷内	前頭2	宮尾 春江 98歳(明35.3.27)	大月
安達 八兵衛 95歳(明38.1.5)	樋ノ内	前頭3	星野 キヨシ 98歳(明35.3.28)	大迎
堀 喜代太 95歳(明38.3.25)	浦木	前頭4	白井 ナカノ 98歳(明35.3.29)	高森
加藤 要作 95歳(明38.10.23)	杉名町	前頭5	鈴木 クニ 98歳(明35.7.27)	東栄町東
伊藤 貫一 93歳(明40.1.25)	中大口	前頭6	大嶋 民 98歳(明35.8.3)	白新町二丁目

九十二歳以上の方々

(九月十五日現在・敬称略)

- ◆九十七歳
 - 佐藤 す以(明36.1.3) 相生町
 - 加藤 ミカ(明36.2.2) 横土居
 - 遠山 ノリ(明36.3.25) 里飯野
- ◆九十六歳
 - 滝澤 ハナ(明36.11.16) 上土地亀
 - 久保 キヨ(明37.1.17) 栄町
 - 堀 トシ(明37.2.28) 大月
 - 若月 ハナ(明37.3.10) 新鼻
 - 青山タツノ(明37.4.27) 朝日町
- ◆九十五歳
 - 高橋ユキイ(明37.10.2) 十二
 - 渡邊トメノ(明37.12.12) 高森
 - 神保 タケ(明38.2.4) 早通北四丁目
- ◆九十四歳
 - 若林 初音(明39.1.2) 前新田
 - 山川ヨキノ(明39.1.29) 長場
 - 上田 トシ(明39.3.15) 正尺
 - 柄澤 チヨ(明39.3.17) 下黒山
 - 小林 ミツ(明39.4.21) 正尺
 - 宗村 ミキ(明39.8.7) 正尺
 - 山口 リツ(明39.8.21) 下大口
- ◆九十三歳
 - 伊藤 アキ(明39.11.16) 椋
 - 真田キヨノ(明40.1.14) 鳥屋
 - 丸山 英一(明40.2.3) 浦ノ入
 - 山川 イキ(明40.2.13) 若松町
 - 北澤 敬治(明40.2.20) 上黒山二区
 - 大堀ハルミ(明40.3.1) 柳原
 - 山崎 スミ(明40.3.19) 正尺
 - 真田フタミ(明40.3.28) 横井
 - 松本 キヌ(明40.4.9) 早通北六丁目
 - 豊島 クノ(明40.4.10) 樋ノ入
 - 石田ミツイ(明40.5.1) 鳥屋
 - 渡邊 キノ(明40.5.5) 長戸呂
 - 藤田フジノ(明40.5.20) 下土地亀
 - 渡邊 ヨイ(明40.5.28) 尾山
 - 護山トキワ(明40.5.28) 大迎
- ◆九十二歳
 - 長場 キイ(明40.6.5) 長場
 - 藤田 ヨキ(明40.7.5) 木崎
 - 内藤マツイ(明40.7.5) 尾山
 - 滝澤 マツ(明40.7.15) 上土地亀
 - 湯浅 セン(明40.7.26) 栄町
 - 野村 ミヅ(明40.8.4) 高森
 - 大野ヨリイ(明40.8.25) 樋ノ内
 - ◆九十二歳
 - 近田 テル(明40.9.19) 灰塚
 - 米山 順太(明40.9.25) 長場
 - 小林 良作(明40.9.29) 浦ノ入
 - 和田さだ子(明40.10.11) 下町
 - 稲垣 キタ(明40.10.15) 前新田
 - 廣川 馨(明40.10.15) 下大谷内
 - 平井 タツ(明40.10.25) 内沼
 - 高橋タキノ(明40.11.1) 鳥屋
 - 笹川 浩吉(明40.11.26) 正尺
 - 坂井 辰平(明40.12.6) 上大月
 - 阿部キソイ(明40.12.12) 三ツ屋
 - 五十嵐キソ(明40.12.22) 大迎
 - 金田 ミヨ(明41.1.18) 尾山N・T
 - 水澤 ヨシ(明41.1.28) 中嘉山団地
 - 齋藤チヨノ(明41.2.3) 上堀田
 - 渡邊 タカ(明41.2.10) 長戸呂
 - 佐藤 ヨシ(明41.2.19) 上嘉山
 - 渡邊 ムメ(明41.2.21) 内島見
 - 関口キヨミ(明41.3.5) 大瀬柳
 - 植木 キイ(明41.3.19) 早通
 - 酒井 正末(明41.3.20) 早通北一丁目
 - 渡邊 ウメ(明41.3.29) 上堀田
 - 中澤 チギ(明41.4.2) 下嘉山
 - 石垣ヨシノ(明41.4.7) 椋
 - 小林 スズ(明41.5.1) 芋黒
 - 星野 成郎(明41.5.24) 白新町二丁目



8月20日、「石動夏まつり」にて

日輪たかし

「真昼かなしきおもひわく日輪たかし」
山頭火の句である。

今思ふこと 豊栄市長 小川竹二

行政のトップは政治家でもある。政治は、スポットライトを浴びる「表舞台」であるが、一瞬にして生死を分ける血なまぐさい「戦場」ともなる。そこはまさに「真昼」である。

そうした中で突然、人間臭く「かなしきおもひわく」ことがある。志半ばで憤死した同志のこと、悔しくも負傷し退場した戦友のこと、そして辛いのは不意にも踏み台となった最も親身な人たちの悲憤、これらの思いが

胸を焼くのである。それでもなお、私にとつては終わつたわけではなく、まだ「日輪たかし」。かんかん照りの道を一人で歩き続けなければならぬ。誠に「業の深い」仕事である。

「第十四回自治体学会・新潟長岡大会」(8/25)に出席する。午前中は第二セミナー「分権元年」住民自治の再出発」に参加し、午後は第七分科会「動き出した介護保険」介護保険で何が変わったか」でパネラーをつとめる。我が市も多くの職員が参加し、各々分かれて勉強した。真の「地方分権」が地域自治、住民自治で

あることを確認すればするほど、その荷は重い。地方自治の本領はこれからであつて、いよいよ「住民自治」と格闘しなければならぬ。政治の道歩んで四十年、悔いを積み重ねて未だ行く手は「日輪たかし」である。

しかし一人ではない。学会には全国から大勢の、そして若い人が集まってきた。市内五中学校生徒会の交歓会(8/10)では、それが「中学生市民」として挨拶した。グラウンドワーク実行委員会の「福島潟放水路稚魚放流会」(8/4)には市民、企業、子どもたちなど数百人が集まった。石動自治会の「子供夏まつりと公園を作るシンポジウム」(8/20)の住民も元気であった。みんな、まちづくりの頼もしい主人公であり、住民自治はここから始まる。